

2021年2月8日
ウィンワークス株式会社

**勤務スケジュール自動作成クラウドサービス(WINWORKS One)に、
シングルサインオン(SSO)オプションを追加、
お客様企業の ID 管理と連携した認証を開始**

～統合 ID 管理を実施しているユーザー企業向けに、
SAML プロトコルに沿った ID 管理連携認証を開始しました～

効率的な勤務計画の作成を通じて企業の経営効率向上を支援するウィンワークス株式会社（東京都千代田区、代表取締役：森庸輔、以下ウィンワークス）は、勤務スケジュール自動作成クラウドサービスである WINWORKS One に、お客様企業の ID 管理と連携してシングルサインオン(SSO)ができるオプションを追加し、2021年2月1日から提供開始いたしました。今回オプション追加した SSO 機能は OASIS で標準として策定された SAML(Security Assertion Markup Language)を利用してお客様企業の ID 情報、例えば、Active Directory などを利用したシングルサインオンを実現します。WINWORKS One ご利用ユーザーは無償でこのオプションを選択できます。

背景

サイバー攻撃に日々さらされている現在、企業の経営における情報セキュリティの重要性が増しています。特にパスワードの漏洩による機密情報の外部流出などの情報セキュリティインシデントの増加に伴い、企業が利用する情報システムの ID 管理への関心が高まっています。

特に利便性追求や DX 化の動きに伴うクラウドサービスの利用拡大とともに、サービスごとに ID を設定することによるパスワードを使い回しや、複数のクラウドサービスでログインし直す手間などによるセキュリティリスクの増大が顕在化しています。これに対処するため、お客様企業では ID 管理システムによる統合 ID 管理の導入が進んでいます。統合 ID 管理は、退職者 ID などの不正利用や、人事異動に伴う不適切な権限利用などの不正アクセスを防止することも容易にします。

SSO オプションの機能

勤務スケジュール自動作成クラウドサービスである WINWORKS One に新たに設けた SSO オプションは、お客様企業の ID 管理システムと連携した認証を実行するオプションです。このオプションを利用すると、WINWORKS One を利用するユーザーはお客様企業の ID 管理システムで認証しますので、WINWORKS One 独自の ID とパスワードを覚えておく必要はありません。また、ID 管理システムで ID を無効化すれば、他の情報システム



と同時に WINWORKS One へのアクセスも遮断することができます。

サポートする認証の仕組みは、OASIS が標準として策定した SAML プロトコルに従います。したがって、このオプションを利用すれば、SAML プロトコルをサポートしている ID 管理システム、例えば、マイクロソフト社が提供する ADFS (Active Directory Federation Service) や、Azure AD (Azure Active Directory) などと連携してユーザーを認証することができます。

ウィンワークスは引き続きクラウドサービスのセキュリティと利便性を追求し、ユーザー企業にとって価値あるサービスを提供して参ります。

ウィンワークス株式会社について

ウィンワークスは、サービス・オペレーション・マネジメント (SOM*) のコンセプトのもと、時間帯毎および日毎に大きく変動するサービス要求への対応に着眼し、最適な人的資源の配分を行い企業の経営効率を高め、グローバル競争を勝ち抜く経営変革の実現を支援するソフトウェア・ソリューションを提供しています。ウィンワークスの先端的なテクノロジーと、ソリューションを活用し経営効率を改善するノウハウは、特にサービスの質を重視するビジネスのお客様から大変高い評価を頂いております。

*SOM とはサービス・サイエンスの理論に基づき現場でのサービスの生産性向上と品質の改善を事業の目標達成に統合する、新しい経営管理の手法です。

詳しくは <https://www.win-works.com> をご覧ください。

<本件に関するお問い合わせ先>

ウィンワークス株式会社 國分

電話：03-3503-5262

Eメール：pr@win-works.com